



住民自治への関心～中学3年生が議会を傍聴

議会だより



初議会・定例会9月会議

【主な記事】

- 新体制による新たな任期がスタート …… 2
- 3名の議員が一般質問 …… 3～4
- 平成28年度決算を認定 …… 5～7
- 9月会議議案審議、行政報告 …… 8
- 常任委員会レポート特集、編集後記 …… 9～10

平成29年12月

NO 177

新体制による新たな任期がスタート



任期満了による利尻富士町議会議員選挙が10月24日告示され、定数9名に対し9名の届け出があったことから、全員の無投票当選で新たな任期がスタートし、去る11月6日に初議会が召集され、議会構成が決定しました。

利尻富士町議会議長

前田 芳久

就任あいさつ



この度の初議会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の要職に再度就くことに、あらためて重責を実感しているところでございます。前期4年間の経験をもとに、行政とタイアップしながら多くの課題解決に向け、議会が一体となつてまた議員相互の親睦を図りながら我が町のために一生懸命努力する所存でありますので、町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

副議長には

「飯田睦穂」議員が当選



副議長選挙におきましてご支持を頂きました。また2期目の若輩で勉強不足ではありますが、精いっぱい努力をし、議長を中心に進めております開かれた議会推進のため、尽力してまいりますのでご支援ご協力を賜ります。

新議会構成

■総務民教産建常任委員（全議員）

■広報広聴常任委員（全議員）

11月6日の初議会において、議長・副議長選挙のほか、各常任委員の選任、各一部事務組合議員の選挙（指名推薦）により決定。

（※番号は議席番号）

- 1 藤井孝二郎 議員（4期）
 - ・利尻礼文消防事務組合議会議員
 - ・利尻島国保病院組合議会議員
- 2 伊藤 信勝 議員（6期）
 - ・議会選出監査委員
 - ・利尻郡清掃施設組合議会議員
 - ・利尻郡学校給食組合議会議員

- 3 戸嶋 郁夫 議員（4期）
 - ・総務民教産建常任委員長
 - ・議会運営委員会副委員長
 - ・利尻島国保病院組合議会議員
 - ・議員会会長

- 4 岡本 晴樹 議員（1期）
 - ・総務民教産建常任副委員長
 - ・議会運営委員
 - ・利尻郡学校給食組合議会議員
 - ・利尻島国保病院組合議会議員

- 5 安楽 昌弘 議員（2期）
 - ・議会運営委員長
 - ・利尻郡清掃施設組合議会議員
 - ・利尻礼文消防事務組合議会議員

- 6 佐々木 勝 議員（2期）
 - ・広報広聴常任委員長
 - ・議会運営委員
 - ・利尻郡学校給食組合議会議員

- 7 白戸 浩明 議員（1期）
 - ・広報広聴常任副委員長
 - ・利尻郡清掃施設組合議会議員
 - ・利尻島国保病院組合議会議員

- 8 飯田 睦穂 副議長（2期）
 - ・議会運営委員
 - ・利尻礼文消防事務組合議会議員
 - ・利尻島国保病院組合議会議員

- 9 前田 芳久 議長（3期）
 - ・利尻郡清掃施設組合議会議員
 - ・利尻郡学校給食組合議会議員

町政の今後の方針を問う (9月会議)

一般質問



飯田睦穂 議員

町民福祉充実の方策について

飯田議員 私たち議会は、本年5月30日に鬼脇公民館で「議会報告・意見交換会」を開催しました。そこで出された意見等は広報・広聴常任委員会が報告したところでありますが、その中から2点について質問をいたします。1点目は、妊産婦の島外検診に関する際のフェリー運賃についてであります。現在未就学児を同伴する場合、大人1人につき1人は無料ですが、2人目からは有料となっております。これはフェリー会社の運賃に定められていることとは思いますが、町の子育て支援の充実と少子化対策として掲げている「子供を安心して産み育てる環境づくり」推進のため、こうしたケース解消の

方策を考慮すべきと思われるが、お考えを伺います。

2点目は、地域福祉充実のための対応についてであります。町内各地域で独り暮らしの高齢者世帯が増えてきているのが実情ですが、こうした人たちは隣近所の人、地域の保健福祉推進員、自治会長、民生委員、保健師等々の見回り声かけなど、日々活動していただいているのは認識しているところではありますが、それでも地域全体の介護力の低下を危惧する声があります。そこで、地域で目をかけ手を差し伸べる必要のある方々を見落とすことなく、安心して地域生活が送れるような地域とするためにもどこかが主導してケースの話をする機会ができれば望ましいとの提言もあることから、町としてこれら施策の充実のために新たな協議する場についての前向きな検討について、町長の所見を伺います。

町長 1点目のフェリー運賃の件であります。大人1人につき同伴される未就学児童1名は無料で、2人目から有料でありましたが、「議会報告・意見交換会」で意見があったと聞き、早速ハートラン

ドフェリー株式会社に入社して入社したところ、平成29年9月1日より離島の子育て支援として利尻、礼文、稚内航路のすべてにおいて未就学児童を、大人1名につき2名まで無料とすることで改正実施されております。なお、これは妊産婦の検診だけでなく、すべての未就学児童を伴う一般の乗船も対象にしております。

2点目の地域福祉充実のための対応であります。当町の高齢者世帯、75歳以上の世帯に限れば一人暮らし世帯は121世帯、一人暮らし以外の世帯は80世帯あり、高齢者世帯とされる65歳以上の世帯も含め、年々増加している傾向にあります。こうした中で役場福祉課や保健センターの保健師、ケアマネージャー、社会福祉士等による高齢者宅訪問を随時実施しており、また社会福祉協議会による福祉推進員による単身高齢者宅訪問を週1回行っているほか、高齢者安心生活事業として福祉電話設置、さらには質問要旨にもあります隣近所の人、保健福祉推進員さん、自治会長さん、民生委員さんなど見守り活動頂いているところであり、加えて町内において業

務している郵便局、北海道新聞販売店、トドック、生協とも高齢者等からの支援を求められた場合、及び異変等を発見したときの連絡など見守り活動のための協定を結んでおり、町内地域全体で情報共有しながら、支えていると考えているところであります。介護力の低下であります。介護技術や介護知識または介護に必要な資金力ではなく、いつまでも住み慣れた地域や自宅で生活してもらいたいとの思いを地域住民が持ち関わっていくことが大事であります。人口減少、高齢化によって地域社会を維持していくのも難しく、これが介護力の低下につながっているものと私なりに解釈しております。住民が安心して生活を送れる地域となることは、すべての住民が望んでいることであって、これらは行政が主導して進めなければならぬことであり、現況で足りないものがあるのか、改善すべき点はあるのか、島以外で生活する家族との関わりなどをそれぞれの立場での意見を集約しながら、さらに福祉充実のため検証し、安心して暮らせる福祉行政を進めて参ります。

議員 フェリー運賃については、3人目についても同様に取り扱ってもらえるよう、これから機会があることに働きかけをお願いしたい。

地域福祉の関係については、それぞれの方の活動は理解しています。せっかく情報をもっているのであれば、もっとそれらを持ち寄って全体を網羅して打ち合わせをするケース、例えば本人も家族も入れながら話をもっていければ、何を希望しているのか、どういったことを行政や地域に対して要望しているのか、ということのようなことも、拾えると思うのです。介護力の低下というのは、手をかけ何かを介護するというのではなく、そういったもつと大きな部分での介護力を充実させるためにも、会議や打ち合わせをできるような機会を検討することなどでございますので、もう少し踏み込んだ答弁を頂きたい。

町長 全体を網羅しながら、という意味では、65歳以上の単身あるいは夫婦世帯の見守りファイルを町の方でも作っておりません。それには介護度障害、疾患、病院等が網羅されておりますが、プライバシー



安楽昌弘 議員
「火葬場の改築について」

の関係上、誰にでも渡して

いるものではありませんが、情報を更新しながらファイルを作っているところであり、その人によつては色々とお世話にかいしてもらいたくないという人もいれば、さまざまケースがあると思われ、センターが中心になって自治会長さんをはじめ、民生委員さん、福祉推進員さんとそれぞれの持ち場での仕事ももっておりますから、どこまで内容的なものを含めたいか、整理検証しながら、進めていきたいと思

(以上)

安楽議員

この施設は鬼脇・

駕泊の両地区に設置されることですが、狭隘であるようにも感じられます。現在、火葬炉に棺が送出された後は、遺族・親族等は現場を見守ることなく一時帰路につき、再度参集し、拾骨する形態となっておりますが、昔からの流れで特に不便さを感じないと思いません。しかし、現代社会では色々な形態があり、どれが正しいかを別しても、都市部や隣町においても火葬場に遺族等の待合室があります。ここで故人が葬られる時を同時に過ごしたいと思う遺族・親族もいるのではと思われ

また、待合時間を利用し、昼食をとることができれば葬

儀のお手伝いの方たちの食事の支度の軽減や、男の方が何人か火葬場の手伝いとしてご足労をお願いしている様なご苦労も軽減できるのではないかと考えます。そこで、将来的構想として、駕泊・鬼脇いづれかの施設が老朽化等の対応が必要になった時期において、町内1箇所にするを前提とした施設をゆとりと利便性のある、またこの施設で働く職員の環境整備、処遇も含め一新した改築について、

町長の所信を伺います。

町長

駕泊、鬼脇いづれかの施設が老朽化等の対応が必要になった時期において、町内1箇所にするを前提とした施設の改築をとることであり、昭54年建設で38年が経過、鬼脇葬苑については平成7年建設で22年経過しております。どちらの葬苑も火葬炉などの維持補修に務め管理しておりますが、確かに狭隘であることは否めない事実であります。また平成20年からの利尻富士町新まちづくり総合計画の中でも将来的には、鬼脇、駕泊両葬苑の統合について検討が必要だと謳われて

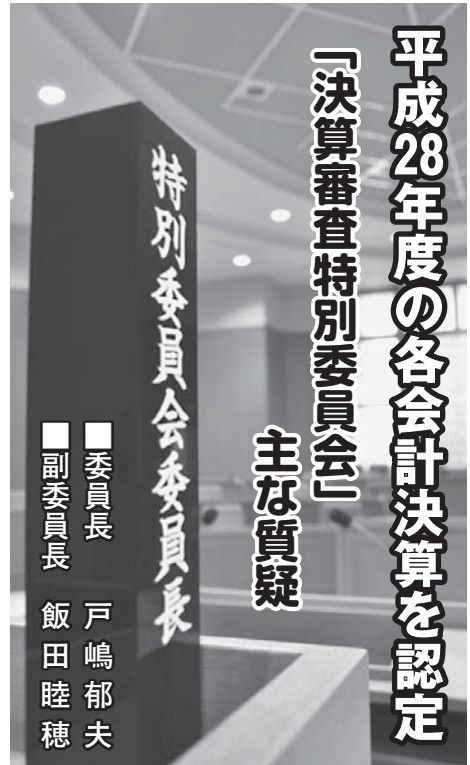
おります。住民の中でも他自

治体での葬儀を体験し、待合室など葬儀環境の改善を求める声も若干寄せられているところでもあり、私の頭の中にも葬苑整備という四文字は入っているところでございます。そこで改築時期であります、駕泊葬苑の方が16年早く建設されているのでこちらの方が先になるのだらうと思慮されるところであります。統合が良いのか、あるいは現状の両地区が良いのか当然議論しなければならぬ問題であります。今後の管理運営を考えると、町内1箇所統合が良いのかと私は考えるところであります。結論付けるものではございません。今後は、事業規模、建設場所などを含め地域懇談会などで町民皆様の意見を聞きながら、改築にあたって検討してまいる所存であります。

議員

現在、町としては、消防庁舎、特養施設、また道道拡張工事などの諸々な工事が予定されている中、大変な時期であると思っております。かかるべき時期に検討くださる事をお願いいたします。

平成28年度の各会計決算を認定 「決算審査特別委員会」 主な質疑



Q 長岡委員

コミュニティ広場の遊具について、役場庁舎向かって右側の方にまだまだいいスペースがあるが、遊具の設置はこれで終わるのか。またこの後の遊具の設置を考えているのか、設置を考えているとすれば例えば1歳から3歳くらいの子供たち、幼児が遊べるような遊具の必要性を感じるが。

A 建設課長
公園の遊具の設置基準があり、遊具同士の間隔も基準にのっとって設置しております。今後の設置に関しては、今の状況で使っていきたい。1歳から3歳未満の子供たちの遊び場については、状況を確認しながら、対応していきたい。

Q 安楽委員

りぷら非常用予備電源整備について、工事完了後に稼働試験が実施されているのかどうか、この設備ができたことを町民に周知しているか、もしなければ不安解消にもなると思われるので、広報利尻富士か、お知らせ利尻富士かで周知されたい。

A 総務課長
非常用予備発電機の稼働の試験は行っております。ご指摘のおしらせ利尻富士、広報りしりふじでは周知しておりません。

Q 安楽委員（再質疑）
周知の必要性についてはどう思われるか。

Q 長岡委員

温泉プール維持費について、昨年度の利用より運休の方が長いイメージをもっているが、修理後運用状況というのは順調に運用されているのか。それともまたなにかトラブル的なことがあるのか。

A 産業振興課長
ボイラーが故障し、61日間休館した経緯があります。補修してからは、その系統では支障はないのですが、細かな故障は今回も起きておりまして、小さいトラブルはあります。

Q 飯田委員
体育施設の運営費に関して、平成27年度に鬼脇の旭ヶ丘プールは施設の老朽化で、28年度から利用は休止するというようなことを地区のまちづくり協議会など機関の方に教育委員会の方から周知していたと聞いています。プールを利用

したいという人たちのさまざまな意見、要望が出され、その際の具体的な要望内容をお聞かせ願いたい。また要望等に対してどのように対処しているか。それを踏まえながら本年度も夏休み期間は利用希望者が今までいなかったわけでは無かったと思うが、それについてもどのように抑えているのか。

A 教育委員会次長
プール活動の対応については、昨年開催された鬼脇地区教育懇談会において、鬼脇プールが利用中止となっているので夏休み期間中に数回、保護者も乗れるように温泉プール送迎バスの運行について、要望がありました。今年、保育所園児と小中学校児童生徒に参加の呼びかけを行いました。7月29日と、8月5日にプール体験、また8月17日に沼浦の砂浜において、ゲームなども取り入れた海浜体験にスクールバスを利用して取り組んでおります。プールは2回開催して41名、海浜体験は26名の参加となっております。プールの利用スケジュールと、保育園児の参加を考慮したということ、プール体験は土

曜日限定としましたが、参加者が思った以上に多かったことと、保育園児の利用がなかったのも、来年は施設担当課とも相談して平日の開催も組み込んで開催回数を多くするつもりでおります。

Q 飯田委員（再質疑）
28年度にそういった対応もされたということで捉えているのか。27年にいわゆる28年からプールは稼働しないということ、その時点で希望者に車や期間などの対応をしてもらえないか要望したのだけども、という話を聞いている。28年度は実際どうだったのか、本年度は今言ったような形態なのか。

A 教育委員会次長
私どもも教育懇談会で初めて具体的な要望があつて、28年度の対応は全く考えておらず、反省しております。ただし、夏休み期間においては、水泳教室、また5日間開催されるチャレンジ教室においても、プール活動はさせていただいております。

Q 飯田委員（再々質疑）

夏休み期間や土日であればある程度働いているお父さんお母さん方も自由は大きく思われる。それ以外の平日にプールに送迎しますというようなことを、周知してもらえば利用も進むのでは。28年度は具体的な動きはなかったということだが、今年も実績をふまえながら、来年度についても早いうちに、良い形で環境を作ってあげるべきだろうと思われる。内部で色々な絡みもあるでしょうし、送迎の関係も色々あるかと思いますが、きちんとした形を示してあげるべきではないのかなと思うので、もう一度、決意についてお聞かせ願いたい。

A 教育委員会次長

火曜日から金曜日までは、ウォーキングそれと一般スイミングが入っており、土日以外は利用が困難であり、また水泳教室や交流かるた事業、島祭り、チャレンジ教室開催などで、このような日程となりましたが、今後新校舎の記念事業の関係で鬼脇地区のPTAの役員の方々と懇談を数回開催いたしますので、改めて今年の実績を報告し、保護

者の皆様からの要望や意見を聞き入れながら、来年度に向けて活動してまいりたいと思います。

Q 飯田委員

①子ども子育て地域人材育成事業について

27年度で実施をして研修会を受講できなかった人を対象に28年度も実施するという事だったと思うが、28年度の実績について教えていただきたい。また本年度当初も予算計上されているが、27年28年29年と3力年続くということだが、今後どういった形で続けていこうとしているのか。

②産業遺産利活用調査研究事業について

28年度の成果についてまずお聞きしたい。これも今年度予算計上されているかと思うが、今後ともやっていこうとするものなのか。

③空き家対策事業について

委託料が支出されているが、この仕事の業務の内容とその成果、これについて伺いたい。事業成果をどのように今後活用していこうと思っているのか。

A 福祉課長（①の答弁）

平成27年度の研修会で講習を修了している方が8名おります。その時に受けられなかった3名がおりまして、その方たちが平成28年度受けていただいているのが3名、新規に28年度に9名受講していただいて、現在支援員は20名の方が登録という結果になっております。それで毎年行事や各子育て講演会等でも預かりの実践をしたのですが、預かりができるという方がその中の2、3名しかおらず、ほかの人たちは現在仕事を持っていてという方が多数おりますので、人数的にはまだ不足の状態であります。29年度も当初で予算要求し支援員を増やしたいということで、今後講習会等を開催しなければならぬと考えております。

A 産業振興課長（②の答弁）

町内の漁業遺産等の価値をまず明らかに、そのうえでそれを利活用するための仕組みを構築、それを活用した観光の仕事という、3段階に分けてやっております。本年度は27年に収集した産業遺産を元にいたしました。活用に取り組みしました。今回、本泊地

区をモデルといたしまして、利尻は本泊から中心に始まったというストーリーを作り、それをもとに島の中の年中行事、季節の食べ物、色々なものの組み合わせた利尻の島歴史というフェノロジーカレンダーというものをつくりました。29年にそれをもとに今滞在型観光の中に本泊の運上屋のところから階段を下がって漁港の中を歩いて、古い釜場があるのですけれども、そこまで歩いて行って本泊の歴史など、そういうものを話しながらやっていこうということで取り組んでいるところでです。

A 建設課長（③の答弁）

空き家対策を進めるうえで国や道、他の市町村の基本的な取り組み状況を踏まえて町の現状と課題をとらえながら、町内での空き家対策に対して地域でどのように取り組んでいくかという解決に向けて、どのような対策が必要なのか、方向性を整理することを目的として実施した委託であります。内容につきましては、空き家対策は防災、景観、移住定住の幅広い分野にわたることからまず職員に共通の認識を持つてもらうために、講師

を呼び、4回の勉強会を開催しました。その中身は、空き家対策に係る制度内容、それと町における空き家対策の位置づけ、空き家対策に向けての取り組み方法について意見交換を行いまして、今後の空き家対策についての方向性を取りまとめを行ったということでもあります。その成果として、大きく町の空き家対策の柱としまして、方向性を出すことができました。まず管理不全で危険な空き家の解体と空き家空き地にならないための取組、それと移住定住の制度化、空き家を適正にして管理してもらう事の仕組みの検討と、この3つを柱に今後進めていこうという風に協議しております。この後職員間で協議しながら実行できるように、肉付けをして最終的な取り組みをまとめていきたいと思っております。

Q 飯田委員（①再質疑）

合計で20名登録されて、それでも実際に運用していかうとする場合まだ足りないのですね。今年度も予算を組み、研修等を行うという事でしたが、実際にこれまで動いてもらえる人数を確保しようとし、どこまでそ



■9月会議で審議された議件

【認定】平成28年度各会計歳入歳出決算
 【条例改正】デイサービスセンター設置条例の一部改正
 一般会計補正予算(第2号) など

条例

■デイサービスセンター設置条例の一部改正
 介護保険法に規定する介護予防、日常生活支援総合事業の実施に伴う改正(基本チェックリストで判定された方のデイサービス利用料設定)
 【原案可決】

意見書

■意見書案第1号 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
 【原案の通り可決し、関係省庁へ送付】

一般会計ほか補正予算審議

■平成29年一般会計補正予算(第2号)
 歳入歳出2,456万6千円を追加し、総額を47億5,783万6千円と定める
 【補正の主な内容】
 ○公有財産購入費(栄町地区2件)669万1千円追加
 ○離島漁業再生支援交付金(世帯追加)721万2千円追加

○ウニかご養殖事業(事業増による)260万円追加
 ○漁業担い手支援住宅整備事業(1戸建て4棟に変更)649万3千円追加

■平成29年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)
 歳入歳出483万9千円を追加し、総額を9,468万6千円と定める
 【補正の主な内容】

○本町地区配水管移設計業業務など
 【原案可決】

■平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)
 歳入歳出257万1千円を追加し、総額を2億586万2千円と定める
 【補正の主な内容】

○本町地区下水道管渠移設計業業務
 【原案可決】

報告

平成28年度一般会計及び特別会計決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により議会に報告されるもの

■利尻空港利用状況

行政報告

1. 利尻空港利用状況
2. 普通地方交付税の確定
3. FDA・ANA本社訪問

	6月	7月	8月
JAL(HAC)	1,599	1,923	1,970
搭乗率	79.3%	89.0%	88.3%
(前年同月比)	(+145人)	(+230人)	(+328人)
JAL(HAC)臨時便	536	294	583
搭乗率	67.7%	81.7%	81%
(前年同月比)	-	-	-
ANA	5,537	5,859	6,278
搭乗率	84.5%	86.1%	80.4%
(前年同月比)	(-341人)	(-233人)	(+520人)

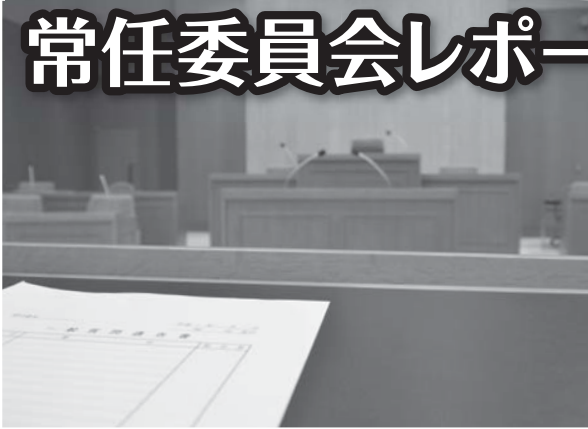
■普通交付税額の確定

決定額：20億1,929万9千円(前年比6,150万4千円減額)
 ※全道町村平均2.2%減、宗谷管内6.1%減

■FDA・ANA本社訪問について

稚内市・利尻町・礼文町、利尻富士町、観光協会長など13名で来年度以降の運航継続、運航再開を要望。ANAについては利尻～千歳間の路線は来年度も運航継続の見通しの方向とのこと。確定はダイヤ改正時点と思われますが、今後も要望を継続。
 町長・観光協会長とでANA総合研究所・東京本店を訪問、利尻島観光についての意見交換を実施。

常任委員会レポート ～議会の果たす役割～



議会の果たす役割として、町の施策の形成や決定の過程において、町民に対して説明責任を果たすことは極めて重要になっています。議会改革や議会活動のあり方を検討するため、議会におけるこれまでの一般質問を検証し、議会としての評価をすることとしました。これは昨年の「議会報告・意見交換会」においてご意見された事項をもとに、活動の一環として実施したものです。

【検証・評価の要旨】 平成25年12月会議から平成29年6月会議までの、いわゆる4年間の任期中の定例会において提出された一般質問45項目について、質問内容、町側の答弁、施策の進捗状況などについて検証し、議会としての評価を実施しました。これは、あくまでも一般質問後における過程の評価であり、町側を評価するものではありません。

評価・検証の方法は、質問項目により「政策の実施（実現）または加速化されたもの」、「国などの制度により実現化されたもの」「協議検討中または今後注視するもの」「評価・検証を必要としないもの」の4つに分類し、それぞれ議事録と資料をもとに4年間での検証と評価を実施しました。

一般質問件数：45項目のうち

A 「政策の実施（実現）または加速化されたもの」	12件	} A・Bあわせて全体の約6割が町 の事務の立案に寄与し、意思 決定を導く使命を果たしたと評 価しました
B 「国などの制度により実現化されたもの」	15件	
C 「協議検討中または今後注視するもの」	16件	
D 「評価・検証を必要としないもの」	2件	

【主な一般質問の項目と評価(抜粋)】

- 高校通学支援について～H26年度より1人1万円を通学支援給付金として支給〈評価A〉（H29より増額）
- 路線バス補助ステップの設置要望について～バス会社で導入され運行中〈評価A〉
- 敬老年金の支給について～現状のまま改定されていない〈評価C〉
- 人口減少問題について～H27地方創生による人口ビジョン、総合戦略が策定〈評価B〉
- 利尻高校への学校給食の取り入れについて～保護者アンケートが実施され、必要性について賛否〈評価C〉
- 特別養護老人ホームの建替えについて～H29年度予算にて基本設計が予算措置〈評価A〉
- ふるさと納税の返礼品について～インターネットからの納税により返礼品を一新〈評価A〉
- 婚活イベントの更なる支援について～H28年度より増額〈評価A〉
- 南浜湿原のミズバショウ鑑賞について～国立公園指定区域の見直し要望を継続中〈評価C〉
- 観光資源としての各種イベントの支援・育成について～さけ環境保全協力金をイベント原資に〈評価B〉
- わが町への観光客誘致について～外国人観光客の受入セミナーを実施〈評価B〉
- 空き家・空き地対策について～課題解決に向けた職員の勉強会を実施〈評価B〉
- 介護現場における処遇問題について～介護職員向け研修会を実施〈評価A〉
- 医療費助成制度の充実について～H29年度より子ども医療費を18歳まで拡充〈評価A〉
- 医療技術者等修学資金貸付制度見直しについて～平成29年度より見直し〈評価A〉
- 鬼脇地域のまちづくりについて～推進協議会の活動とともに、次期まちづくり計画で模索中〈評価C〉
- 津波防災の見直しについて～H29年度でハザードマップを作成〈評価C〉
- 鴛泊地区の空き地利用について～検討中〈評価C〉
- 高齢者の福祉ハイヤーについて～制度の研究、導入の可否を検討中〈評価C〉
- 鴛泊港緑地公園の整備充実について～街灯の設置は見送り、付帯施設については検討中〈評価C〉

「この評価・検証は、今後においても総務民教産建常任委員会の調査事項として、継続的に実施することとしています」

編集後記

去る10月24日に告示されました利尻富士町議会議員選挙におきましては、昭和60年以來の無投票による選挙となりました。

町民の皆様におかれましては、一抹の不安とご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。

町村議会議員のなり手不足が叫ばれる中、本町議会においても一昨年の特別委員会において9名の定数を決定させていただいた中での定数を満たした議会構成となったわけですが、次期においては考慮せざるを得ない状況であることが考えられます。

人口減少が現実味を増し、まちの将来に不安を抱えながら、今後は町の活性化とともに魅力あるまちづくり、議会づくりに力を注がなければなりません。

新たな体制となった議会で、現実を受け止め、より一層皆さんのために努力する所存でありますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

広報・広聴常任委員会一同

議会に行こう!

議会傍聴は議会活動に触れるもっとも身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や行政の方針などを是非ご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場3階傍聴席入口までお越しください。



広報・広聴常任委員会

委員長／佐々木 勝
副委員長／白戸 浩明
委員／安楽 昌弘 藤井孝二郎
伊藤 信勝 戸嶋 郁夫
岡本 晴樹 飯田 睦穂
前田 芳久

議会の詳しい情報は利尻富士町ホームページへ

<http://www.town.rishirifuji.hokkaido.jp>

常任委員会レポートⅡ



総務民教産建常任委員会 (7月24日)

■鬼脇地区小中併置校現況調査

校舎工事の進捗も工程通りとのことであり、建設中の現場を確認した上ではスペースの配置や外断熱工法などによる近代的な校舎の完成を期待しているところであるが、定例会での質疑内容も含め、事前の協議など地域住民との完成に至るまでのプロセスに配慮していただき、安心して学習・活動できる環境の完成を願うところである。また、グラウンドが地域行事の拠点となるよう、利活用のための快適な施設環境の整備にも努めて頂きたい。

広報・広聴常任委員会 (7月24日)

■議会だより利尻富士No.176の編集についての調査及び協議

議会日誌

- 6月18日 陸上自衛隊第2師団旭川駐屯地創立記念式典 (副議長)
鴛泊小学校運動会
- 6月27日 北見神社宵宮祭及び例大祭 (議長)
- 6月30日 利尻山神社宵宮祭及び例大祭 (議長)
- 7月4日 北海道町村議会議員研修会 (札幌市)
- 7月12日 長野県駒ヶ根市議会行政視察
- 7月14日 全国離島振興市町村議会議長会理事会及び総会 (東京都)
- 7月24日 第3回広報・広聴常任委員会 (議会だより)
第2回総務民教産建常任委員会
- 8月24日 沖縄県石垣市議会行政視察
- 8月26日 利尻島鬼脇会総会・懇親会 (札幌市)
- 8月27日 利尻島おしどまり会総会・懇親会 (札幌市)
- 8月28日 新潟県加茂市議会行政視察
- 9月8日 第2回総務民教産建常任委員会
第3回議会運営委員会
- 10月1日 鬼脇保育所・利尻小学校合同学芸会
- 10月7日 第6回利尻島サケ釣り大会交流会
- 10月12日 鬼脇地区敬老会
- 10月13日 鴛泊地区敬老会
- 10月15日 金刀毘羅神社例大祭
- 10月8日 鴛泊小学校学芸会
- 10月15日 鬼脇中学校学校祭、鴛泊中学校学校祭
- 11月1日 新議員研修会
- 11月2日 第2回定例会前の協議・説明会
- 11月6日 第2回定例会
- 11月10日 功労者表彰式
- 11月21日 全国離島振興市町村議会議長会 (東京都)
- 11月22日 町村議会議長全国大会 (東京都)
- 11月23日 利尻島新嘗感謝祭
- 11月25日 自衛隊協力会設立総会
- 12月3日 チャリティ演芸会